

# J A全中 Monthly Report

併せてJ A全中ホームページ (<http://www.zenchu-ja.or.jp/>) もご覧ください。

8月

## 奥野会長 7月定例会見 退任メッセージ

2年間のJ A全中会長の仕事は、長いようで短く、「光陰矢の如し」「光陰如箭」と申しますか、そのくらい忙しく、無我夢中で働かせていただきました。

ありがたいことに、多くの方とお会いし、会見でも記者の皆さんから勉強させていただくなど「合縁奇縁」でした。どんな場面でも私は「一期一会」のつもりで、一所懸命に誠意を持って取り組んできました。

人の評価は棺桶に入ったときに定まるという意味で「蓋棺録」というコーナーが『文藝春秋』誌にあります。私はその時々事態に対処してきましたが、評価は後の人がしてくれると思います。

## 中家会長 8月定例会見 就任メッセージ

和歌山でミカンと梅の専業農家の長男に生まれました。就農の前に農業者の組織である農協について勉強するのも役に立つと思い、中央協同組合学園の第1期生として、3年間、協同組合運動を学びました。当時の全中会長の宮脇朝男氏に感銘を受け、その崇高な理念に共感し、地元の紀南農協に就職しました。

目下、最大の課題であるJ Aの自己改革を成し遂げ、「J Aはなくてはならない組織である」という評価を得なければなりません。試練を乗り越えれば、必ず、次の明るい展望が開けると思います。われわれの3年間の活動が、今後のJ Aの浮沈を決定します。粉骨砕身、全力で取り組んでいきます。

## J Aの自己改革の実践を 経済・ビジネス誌で紹介 「GIの産地をめぐる旅」

日常生活において、農業と接点の少ないビジネスパーソンに向けて、経済・ビジネス誌を用いてJ A自己改革の実践を伝えています。

独自の生産プロセスや地理的な

特性によって高い品質を達成している農産物の名称を知的財産として保護する「GI（地理的表示保護制度）」に登録することで、ブランド価値を向上させ、経営力を高めている産地（J A）をフリーアナウンサーの魚住りえさんがレポートする「GIの産地をめぐる旅」を『週刊東洋経済』に2回、掲載しま

した。

第1回は、8月5日号で、北海道夕張市（J A夕張市）の「夕張メロン」。第2回は、8月12日号で、福岡県八女市（J Aふくおか八女）の「八女伝統本玉露」の各産地をカラー4ページで紹介しました。

同企画は、「東洋経済オンライン」からご覧になることができます。

